

## つながることで、

工場内の様々なデータが繋がることで、工場の生産性を大きく向上させることができます。

製造現場に埋もれているデータを活用する、例えば起こり得るトラブルの予兆を検知しアクションをフィードバックして未然に防ぐことができるようになります。さまざまなシーンにおけるこのようなフィードバックループが、工場の生産性を向上させます。

## つなげるために、

データを最大限活用するには乗り越えるべき課題が数多くあることが分かっています。

機器ごとのデータの一元化

アクセス容易性 見える化

情報拡散 データ関連性

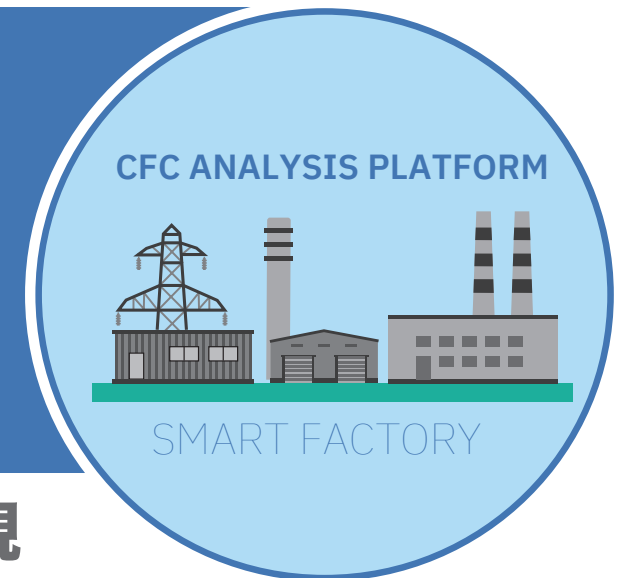
判断結果の反映が遅い

複数工程・複数工場でのデータ活用

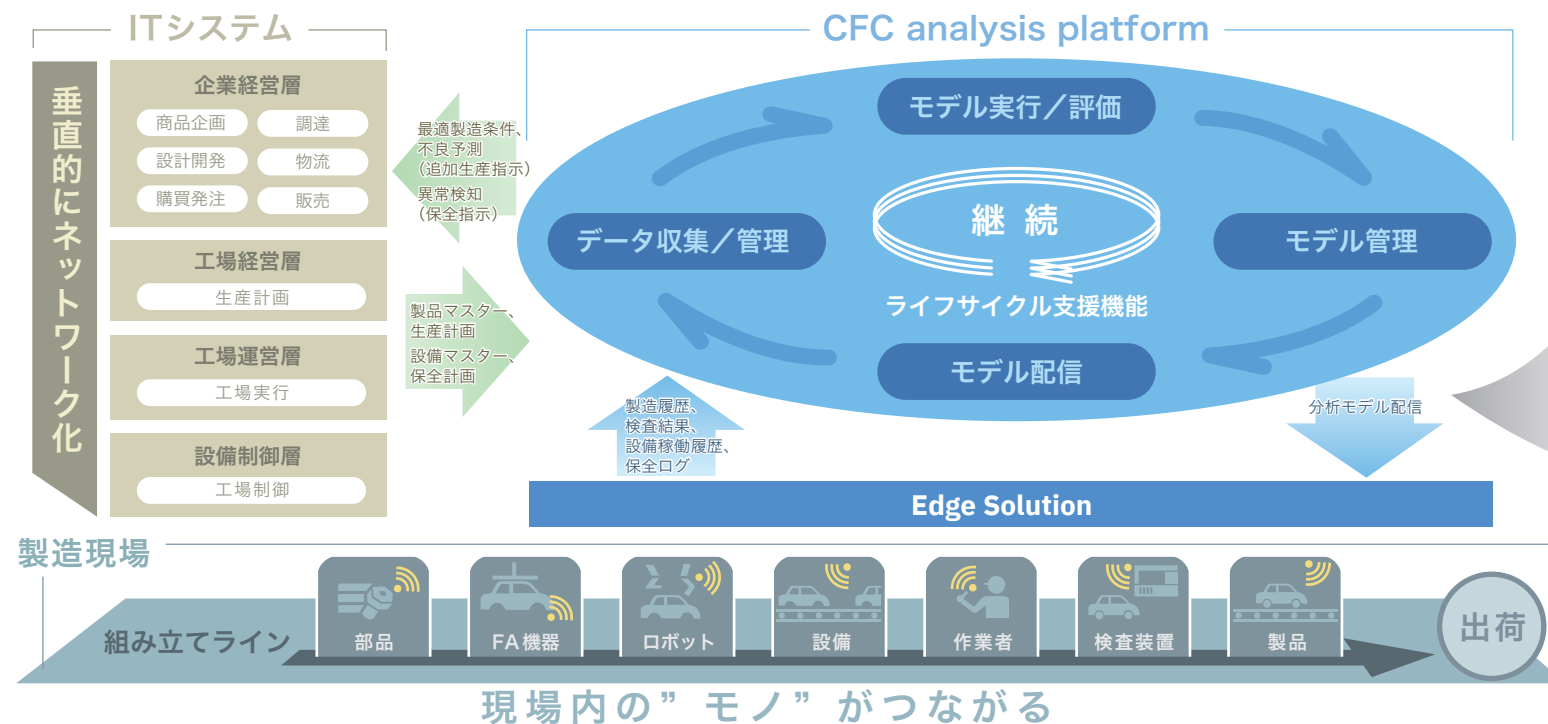
## CFC analysis platform とは、

工場内の単独のデータが他のデータと繋がりながら、工場全体に大きな価値を生み出す、データ活用の実現を支える IoT 基盤です。

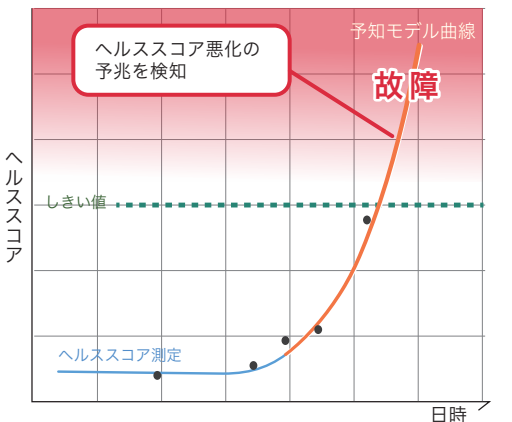
\*CFC は Connected Factory Concerto の略称です。ソリストとオーケストラが音の掛け合いをしながら、全体のハーモニーを紡ぎ出す Concerto (協奏曲) のように、システム間のデータのやり取りを可能にすることで、お客様の価値創造を支援します。



## スマートファクトリーのフィードバックループを実現



例) 製造機器の故障を予知  
故障モードに合わせて保全計画 / 指示を事前に実施



製造機器から収集したデータをもとに機器の健康状態 (ヘルススコア) を測定します。健康状態の悪化の予兆が検知されたら、検知された故障モードに合わせて保全計画・保全指示へフィードバックループを回します。

## CFC analysis platform の 3 つの特徴

### 製造現場との連携

製造現場・エッジコンピューティング・生産 / 計画 / 実行系 IT システムの 3 つのレイヤーをつなぎ、データ連携をリアルタイムに行います。標準プロトコルによる連携を採用しており、多種多様な機器や生産実行システムである MES 等の IT システムに分析結果をフィードバックすることで、製造現場での成果に結びつけます。

### データ管理、分析運用を支える IoT 基盤

分析担当者が、解析ライフサイクルを一貫して実施できるよう、CFC analysis platform は一連の機能を提供しています。数値データに限らず、例えば設備の保全ログのようなテキストデータ、キズや不良を見つけるための画像データなど、様々なデータ種類を扱うことができ、工場内で稼働する設備・機器の状態をよりリアルに捉え分析に活用することができます。

### スマートファクトリー業務を実現するコンテンツ

予知保全や品質検査の向上といった、製造現場でのユーザーにとって価値のあるユースケースに対し、分析モデルを作成し、容易に追加できるよう設計されています。ロボット減速機の故障予知モデルは初期分析モデルとして導入でき、クイックに成果を実感いただくことが可能です。